

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		クローバキッズ西部 放課後等デイサービス				公表日	令和8年 3 月 20 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		十分に広い	死角にならないよう気を付けている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	1	活動中の人数は適切	送迎中に手薄になる場合がある	
	3		3	3	地下1階の為バリアフリーではない	今は必要ないが将来的には手すりなど設置が必要	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1		絨毯の為汚れが取り切れない部分がある	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	4		スペースは広いが仕切りはないため個別対応は難しい	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	毎日のミーティングで細かいことも報告し改善に努めている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		結果を職員に共有し、話し合い、変更したり、改善したりしている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		その他の研修は月2～3回ペースで実施されている	中途入社職員の基礎研修があると良い	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1	モニタリング時に保護者からニーズをしっかりと聞き取りした上で計画を作成している	こどものニーズが十分にききとれていない	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	アシスト・バインランドを使用		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	2			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		個々の立案をみんなで確認し意見を出し合っている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		繰り返しが必要なプログラムも変化をつけ、飽きのこない内容を考えている		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1		集団活動がメインになっている為、個別活動が少ない目ではある	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎日ミーティングを行い、本日の役割等を細かく話し合っている		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	翌日にミーティングで気が付いたことを報告し、どう改善していくか話し合っている		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		個人記録やミーティング会議録をしっかりと残し、改善策を共有している		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		半年に1回、児発管によって行われている		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4	2		今後よりしっかりと周知していきたい	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	2	自由時間は自分の好きな活動ができる環境が取れている	集団活動中は決められた題材で製作を行ったり、行動したりする機会が多い	
関係	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児発管によりしっかりと行われている		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	保護者様より情報を頂き、不明なことや日々の子どもの様子など担任の先生とコミュニケーションをとり共有している	学校やクラスによってはあまり話せない場合もある	

関 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4		今現在、情報を得ていないが、就学以前の様子も知る機会があれば知りたいと思う
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4		まだ対象児がない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		専門機関の研修があると良い
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	あえての交流はないが、公園などのお出掛けで触れ合う機会がある	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5		今後交流したい
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時やメッセージのやり取り等で事業所での様子を積極的に伝え、支援につなげられるよう心掛けている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	普段からコミュニケーションをとり、話しやすい関係づくりを目指している	
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		電話や対面でその都度、相談に応じている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしている		6		一度行ったが、参加者が少なかつたため、もっと気軽に参加、交流できるような内容を立案できると良い
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		すぐにミーティングで共有し、必要な対応をしている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		通信を毎月発行している 毎日インスタグラムも更新している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		厳重に取り扱っている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		それぞれに合った配慮を心掛けている	
非 常 時 等 の 対 応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		今後取り入れたい
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	職員間での共有や子どもを含めた訓練は取り入れている	保護者に周知はしているが、十分に伝わっているかわからない為、見直しも検討したい
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		定期的に研修等にも参加している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		しっかりと情報共有している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		食品を買う際にはダブルチェックをしている 職員誰もが把握できるように表記している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		定期的に繰り返し行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		周知が十分でない可能性もある為、見直しも検討する
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		全員で情報共有している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		定期的な研修や毎月のアンケートを実施している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		契約時にしっかり説明をしている	